



# 南丹市立美山小学校

## オフィシャルウェブサイト



〒601-0751 京都府南丹市美山町島 島台52番地 TEL: 0771-75-0017 FAX: 0771-75-0106 MAIL to: miyama-es@kyoto-be.ne.jp  
通級指導教室 (ことばの教室) TEL:0771-75-1097

### 美山小学校WEBページ

トップページ

- ・学校紹介
- ・行事予定
- ・学校だより
- ・研究推進
- ・学校評価
- ・美山学
- ・美山学だより
- ・図書室だより
- ・R3年度美山っ子日記
- ・感染症対応マニュアル
- ・就学援助制度について
- ・いじめ防止基本方針
- ・気象警報等の対応
- ・全国学力・学習状況調査結果

since 2016.04.01

COUNTER 830895

### リンク集

- [南丹市教育委員会](#)
- [南丹市役所](#)
- [京都府教育委員会](#)
- [京都府南丹教育局](#)
- [文部科学省](#)

[南丹市立美山中学校](#)

### 南丹市立美山小学校

〒601-0751  
京都府南丹市美山町島 島台52番地  
TEL 0771-75-0017  
FAX 0771-75-0106  
MAIL miyama-es@kyoto-be.ne.jp



本ホームページの著作権は、南丹市立美山小学校に帰属します。

### お知らせ

本校の地域とともにある教育実践について発信していきます。

### 美山学 地域連携コーディネーター通信

地域連携コーディネーターの視点から発信していきます。

1 2 3 4 5 次 ▶ カテゴリ選択 ▼ 10件 ▼

2022/11/10 | こぶしの里さんとオンライン交流

by 美山学

## 美山こぶしの里のみなさんとオンラインで交流したよ！

4年生は美山の福祉について学習しています。

先日、美山やすらぎホームから谷口さんにお越しいただいて、高齢者福祉についてお話をうかがいました。今回は実際に美山町内の施設を利用されている皆さんと交流することになり、谷口さんのお話を参考に準備を進めてきました。



初回の今回は美山こぶしの里の皆さんとの交流です。はじめに、4年生全員で美山小学校の校歌を歌ってみなさんに聞いていただきました。



そのあとは、グループごとに分かれて、秋の言葉を使ったビンゴゲーム、自分たちが作った作品発表、なぞなぞクイズ、ダンス披露とそれぞれに工夫をこらして準備してきた交流をしました。

オンラインでの交流は互いに見えにくい部分もありますが、モニターの向こうの皆さんの様子をうかがいながら、楽しんでいただけているかな？と考えながら進めました。



あっという間に1時間ほどが過ぎ、最後に利用者の方から楽しかった、良かったと感想を聞かせていただいて、子どもたちも嬉しそうでした。

最後にモニター越しのみなさんと一緒に写真を撮ったところで、こぶしの里の皆さんからサプライズプレゼントが！



どんぐりやクリなどの木の実を使った作品と、ひとりひとりに折り紙で作ったコマをいただきました。作品はとてかわいくて、子どもたちも大感激でした。みなさんにも見ていただけるように玄関に飾らせていただきます。

09:28 | 4年

2022/11/09 ■ 諏訪神社の大祭について

by 美山学

### 30年に1回!? 諏訪神社の大祭とは？

3年生は美山のお宝について調べています。これまで、櫻原のカラス田楽、田歌の神楽についてお話をうかがってきました。いろんなお祭りがあることを知ることができましたが、今回はなんと30年に一度しか開催されない???お祭りについてお話をうかがいました。



鶴ヶ岡地区にある諏訪神社の総代長、田中幹生さんにお越しいただきました。

諏訪神社のお祭りは、棚野の千両祭りと呼ばれ、30年に一度の大祭と15年に一度の中祭が開催されることで知られていますが、新型コロナウイルスの影響で2年前の大祭が開催されないままになっていました。今年こそはと準備されてきましたが、残念ながら開催されないこととなったそうです。



諏訪神社で奉納される芸能は全部で5種類、獅子舞、神楽、俵振り、太刀振り、姫振り踊りがあります。そのうちの鶴ヶ岡地区で奉納される俵振りに使用される道具を見せていただきました。





今回の15年後まで、5つの奉納芸を継承していくことは非常に大変とのことで、それぞれの奉納芸を映像に残して継承しやすくする方法を模索しているそうです。実際に祭りで使う道具をたくさん持ってきていただき、触らせていただいて興奮気味の子どもたちです。



最後に、子どもたちからも質問や感想を言いました。美山のさまざまな祭りがどのようにして継承され大切に守られてきたのかが、少しずつ分かってきました。

美山のお宝、子どもたちの心にどのように残っていくのでしょうか。

09:44 | 3年

2022/11/08 秋を見つけに

by 美山学

## 秋を見つけにかやぶき美術館まで

1年生は生活科の学習で、自然の中から秋を見つけに出かけました。

5月に、春を見つけに地域の方と出かけましたが、その時の皆さんと一緒に、美山かやぶき美術館までの道のりを歩きました。



かやぶき美術館に到着すると、さっそく施設の周辺や裏山のあたりで、秋を見つけに散策をはじめました。足元をよ〜く見てみると、さっそく、どんぐりや色づいた落ち葉、まつぼっくりなど秋を感じる自然が転がっています。



次々と見つけては、班ごとに袋に入れて教室へ持ち帰るのも忘れません。



かやぶき美術館の黒田さんにもお世話になって、施設内を縦横無尽に駆け回り、秋見つけ以外にもたくさんの遊びを体験できました。

学校の行程ではできない、山裾の斜面を駆け上ったり滑り降りたり、1年生はみんな元気いっぱいです。たっぷり秋を見つけた後は、資料館の中も見せていただいて、昔の道具などを見学させていただきました。





たくさん一緒に遊んで、あっという間に2時間が終了しました。

見つけた秋をつかって、今度はどんな活動ができるのでしょうか？それも楽しみです。

08:50 | 1年

■ 2022/11/07 ■ まちたんけんに出かけたよ！

  | by 美山学

わたしたちの町たんけん

2年生は生活科の学習で、町たんけんに出かけました。



探検先は美山郵便局、ヤマヨストア、梶原商店、駐在所、エビスウツガーデンカフェの5つの商店や施設です。小学校の周辺にはどんなお店や施設があるのか、通りがかりに外からは見たことあるけれど・・・？どんなところかな？いざ、行くことが決まるとたくさん聞きたいことが出てきた子どもたち。質問を準備して出かけました。



郵便局では武田局長さんに案内していただいて、普段見たり入ったりすることのできない、配送のための準備をされる様子なども見学させていただきました。



ヤマヨストアーさんとえびカフェさんでは、どんなものを販売されているのか？どんなお客さんが来られるのかなど、それぞれのお店で質問をして視淵さんと菅生さんにそれぞれ答えていただきました。



梶原さんには文房具や日用品のほか、釣り道具やたばこなどもあって、いろいろな商品がそろっていることに驚きました。



駐在所では、牢屋があるのですか？と子どもたちらしい質問も出て、駐在所の戸田さんに丁寧に説明を受けました。じぶんたちの周りのお店や施設も、聞いてみて初めて分かったことがたくさんありました。まちたんけんを通して、自分たちのまちのこと、暮らしのことなど興味を持って調べることができました。

08:39

2022/10/31 美山の小さな動物園で動物ふれあい

by 美山学

おくどさんで動物たちとふれあい体験してきました

1年生は、宮島地区板橋にあるおくどさんへ行ってきました。おくどさんには、ミニブタ、やぎ、モルモット、うさぎなど、まるで小さな動物園のようにたくさんの動物たちがいました。



おくどさんでは、動物たちにふれあえるということで、用意していただいた人参を自分たちの手で動物たちに食べさせる体験をさせていただきました。



はじめに、動物たちにふれあう際の注意を聞かせてもらって、ちいさなモルモットの足にも注目してみてねと教えていただきました。



モルモットの足の指や、ウサギの赤い目のヒミツ、ヤギの歯など、ふれあわないと見えない小さなところに注目しながら、動物たちと楽しい時間を過ごしました。



動物たちとふれあった後は、感じたことや疑問に思ったことを、おくどさんの上村さんに聞いて教えていただき、ほかのみんなが感じたことなどを共有して、もう一度動物たちをよく観察しました。たくさんの動物にふれあえる貴重な機会を提供していただいたおくどさん、ありがとうございました。

11:49 | 1年

■ 2022/10/25 ■ ホームステイの代わりに・・・

  | by 美山学

オンライン交流でホームステイの代わりに・・・

5年生は、9月の下旬にホームステイ体験をする予定でしたが、残念ながら中止となってしまいました。本来であれば、ホームステイの滞在中に、受け入れてくださる予定の地域のご家庭のみなさんに、農業のことなどお話をたくさん聞かせていただいたり、交流をする予定でしたが、できなくなってしまいました。

そこで、ホームステイに行けないならば、せめてオンラインで交流をと地域のみなさんをお願いして、タブレットやパソコンの画面越しに交流をすることができました。



それぞれグループに分かれて、6つのご家庭にお世話になって、子どもたちが用意した質問に答えていただいたり、それに対して意見を交流したりしました。



はじめは、画面越しに向き合って緊張気味の子もたちでしたが、地域のみなさんとお話をするうちにたくさん質問が出たり、自分の意見を伝えたりできるようになってきました。



地域の皆さんも、オンラインでの交流は初めてという方もあり、良い経験だったとおっしゃっていただいたり、画面越しでも子どもたちと交流できて本当に楽しかったと笑顔でお話してくださったりと、よい交流の時間となりました。



子どもたちは、地域の方に聞かせていただいたお話をもとに、美山の農業についてさまざまな考えや意見を持ち深めていけると思います。

初めての試みでしたが、とても良い機会となりました。

11:38 | 5年

■ 2022/10/20 ■ 秋の味覚！サツマイモ掘り

  | by 美山学

## 農業委員会のみなさんとサツマイモ収穫！

春にサツマイモの苗植えを体験させていただいた2年生。  
秋の収穫に時期を迎え、サツマイモ掘りをさせていただきました。



芋畑はツルが畑一面に生い茂っていましたが、農業委員のみなさんが2年生が畑に到着するのに合わせて、ツルを切って待ってくださっていました。



芋のツルをみんなで引っ張って片付けると、土の上に少し芋が顔を出しています。



さっそく掘り始めると、次から次から大きなお芋がたくさん出てきました！



自分たちが植えた1本の苗から、たくさんの芋がツルにつながって大きく育っているところを見ることができ、たくさんの収穫の喜びを味わった子どもたち。

みんな、自分が掘ったお芋を手に手に笑顔があふれていました。

農業委員のみなさんも、そんな子どもたちを見て笑顔あふれる芋畑になりました。

それぞれ、重さを計って自分が持ち帰るお芋を選ばせていただきました。

家に帰って、どんな料理に変身したのでしょうか？自分たちの手で収穫したものが食卓にのぼる喜びはひとしおでしょうね。

収穫までの長い間、世話をしてくださった委員のみなさん、ありがとうございました。

11:16 | 2年

2022/10/13 秋の収穫祭

by 美山学

## 黄金色に実った田んぼで稲刈りをしました

6月に田植えをした田んぼが、秋の気持ち良い風になびいて黄金色に輝いています。

今回も田植え作業を指導していただいた寺井憲治さんと中島隆章さんにお世話になりました。



はじめに、寺井さんから稲刈り鎌を使用する際の注意事項や、稲木に干すためにワラで束ねる作業について教えていただきました。





稲刈り作業をはじめとする子どもたちも多く、稲の株を持つ持ち方から、束ねる際のコツなどもじっくり真剣に聞いています。



稲刈り作業は、みんな慣れてくるとものすごいスピードで作業が進みましたが、次の束ねる作業は少し難しかったようです。ワラで束ねて「さあできた！」と思っても、持ち歩くうちに束ねた稲がバラバラと落ちてくる子、何度束ねても束ねてもうまく締まらない子もあり、それぞれに悪戦苦闘しながらも、なんとかすべて束ねることができました。



残った稲を、文明の利器を借りて刈り取りました。バインダーも数十年前の機械ですが手で刈り取るよりもいかに速く、楽な作業かがよく分かります。



自分たちで稲木を立てる作業からさせていただきました。どこにどうやったら上手に立てられるのか、隣の稲木を見ながら考えて、寺井さんにヒントをもらいながら・・・



束ねた稲木も流れ作業と連携プレーでかけ終わり、春に植えたもち米が見事に稲木にかかりました。



秋晴れの青空のもと、稲木と子どもたちの働く姿が絵になる風景でした。  
冬ごろには、収穫したもち米を使ってもちつきもできたらいいな！と話が盛り上がっていました。

小学校のグラウンドの隅に植えた、タライの稲は、キヌヒカリと言う種類のうるち米です。別の日に刈取りをして干しておくことになりました。  
こちらは、できたら家庭科の調理実習に使いたいですね！

16:08 | 5年

2022/10/05 ■ カラス田楽とは???

by 美山学

## 檜原の田楽「からす田楽」

大野地区の檜原集落には大野地区の氏神様でもある大原神社があります。その神社のすぐそばに川上神社と呼ばれる摂社があるのを知っていますか？

檜原の集落から山口恒一さんに来ていただいて、川上神社のお祭りについてお話をうかがいました。



京都府の登録無形文化財第1号として登録されたのが、川上神社の奉納芸として知られる「檜原の田楽」通称からす田楽です。

ピンザサラと呼ばれる木製の特有の楽器を使っています。笛と太鼓、ピンザサラの単調かつ独特な音に合わせて、ピンザサラとカラス役の男の人が舞います。



実際に道具を触らせていただきました。簡単に音は出ますが、山口さんたちが祭りでされているような優雅で美しい音色はなかなか出ません。「コツは特にないけどなあ」とおっしゃっていましたが、不思議です。やはり、長年にわたって継承されてきただけあって、体で覚えておられるのでしょうか。



600年以上前から続くと言われているこの祭りには、台本や楽譜などはありません。口頭で伝承されてきただけあって、その地域の方たちの人から人へと伝えられてきました。

どの地域でも過疎高齢化が進み、祭りの担い手が不足してきています。檜原の祭りも以前は、祭りの直前に結婚された男性がカラス役をすと決まっていたそうですが、今はそうもいってられない状況です。



祭りを継承していくために、榎原周辺の地域の方や地元出身の方などの協力を得ながら、続けていく必要があるそうです。昔は山の中腹にあった神社の前まで祭り装束の下駄をはいて山に登り、そこでも奉納芸をしておられたそうです。それも今は、里の神社の境内でされています。時代とともに少しずつ形を変えながらも守り続けられています。榎原の出身でない子どもたちも、大人になった時には祭りの担い手となっているかもしれません。

15:30

■ 2022/10/04 ■ やすらぎホームってどんなところ？

  | by 美山学

## 美山の福祉は「えがおのふくし」 やすらぎホームってどんなところ？

4年生は総合的な学習の時間に、福祉について学習しています。  
今回は美山町内の高齢者福祉についてお話をうかがうため、美山やすらぎホームから谷口公一さんに来ていただきました。



早速、お年寄りのイメージについて、みんなで想像してみました。  
白髪やしわ、腰が曲がってくるなどの見た目や、ゆっくりした動作や、物忘れがひどくなったりする行動など、子どもたちとは違うことがたくさんありそうです。  
そういったお年寄りの方が、老人ホームやデイサービスを利用されるための施設として、やすらぎホームがありますが、サービスの利用形態にもたくさんの種類があるようです。



私たちが思っている以上に多くの利用者の方がおられ、それをサポートされる多くのスタッフさんが働いておられます。  
そして多くの利用者さんがデイサービスに行き来される送迎用の車が、毎日のように行き交います。  
送迎車両の写真を見ると、「知ってるー！」「うちの近くにも来はるで！」と、ほとんどの子どもたちが施設の車を見たことがあり、ぐっと身近に感じたようです。

デイサービスやグループホームなど、やすらぎホームでは多くの利用者さんがお風呂に入られます。自分ひとりではお風呂に入れないお年寄りの方を、スタッフさんがサポートする作業は、時間もかかりますし汗だくになりながらの重労働です。そんな作業を助けるため、大きなお風呂には手すりや機械などたくさんの工夫もありました。



お風呂以外にも、たくさんのレクリエーションなどもあり、楽しんでおられる様子も見せていただきました。  
お菓子作りをしたり、歌が大好きなみなさんはコロナ前はカラオケ大会もよくされていたとか♪  
楽しい時間を過ごされているんですね。  
お話をうかがって、普段は見ることのできない施設の中の様子も少しわかりました。  
美山の福祉がますます笑顔になっていくように、自分たちにもどんなことができるか考えていきます。

